

障がい者スポーツの暫定的な活動拠点の整備 （用途変更）のバリアフリーチェックの概要

1 実施日

令和8年4月17日（金）

2 事業（施設）名称

障がい者スポーツの暫定的な活動拠点の整備（現：札幌国際交流館）

3 チェック時期

施工済み（令和10年度より、現在の札幌国際交流館を上記の施設として
用途変更する予定）

4 事業実施部局

札幌市スポーツ局

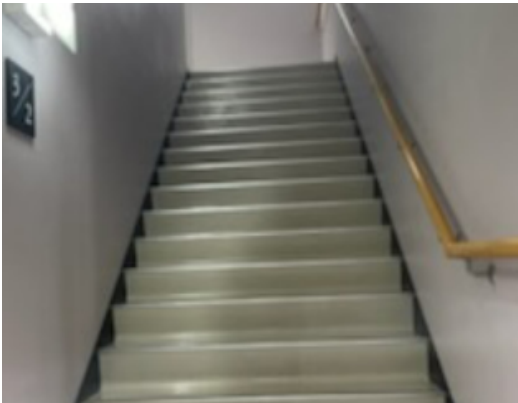
5 チェック実施者

札幌市身体障害者福祉協会 6 名

札幌市老人クラブ連合会 2 名

6 チェック参加者

公共的施設のバリアフリー部会委員 8 名

御意見	考え方
1 階段部分 (1) 階段があることを知らせる設備 【指摘】 各階の階段の手前部分に点字ブロックが設置されておらず、視覚障がい者が階段に気付けない危険性がある。 【助言】 素足で移動する部分は、足裏への刺激が強すぎない「高さの低い点字ブロック（通常の5mmの半分程度）」の設置も考えられる。 （札幌市視覚障害者福祉協会 近藤 久江）  (2) 2階から3階の階段における手摺 【指摘】 エレベーターが2階までしか繋がっておらず、かつ、2階から3階の階段における手摺が片方にしか設置されていないため、（片手が不自由な方などの場合）昇降時に危険が伴う。 （札幌市ボランティア連絡協議会 渡辺恵美子） 	1 階段部分 (1) 階段があることを知らせる設備 点字ブロック等の設置等を検討してまいります。 (2) 2階から3階の階段における手摺 手摺の設置を検討してまいります。

御意見	考え方
(3) 3階における階段の開始部分 【指摘】 3階から2階に降りる際の階段開始部分について、障がいの有無に関わらず、足を踏み外す危険性があるため、速やかに何らかの安全措置を講じた方がよい（当該状況について、添付写真を参照）。 （北海道建築士会札幌支部 東 道尾） 	(3) 3階における階段の開始部分 縦型の手摺を設置するなどの安全措置を検討してまいります。 
2 多目的トイレ（地下1階～2階） ※ 多目的トイレは、地下1階から2階まで各1箇所ずつ設置されており、下記(1)から(7)の意見は各階のものに共通。 (1) 鍵の位置（高さ） 【指摘】 鍵の位置が低く、また、つまみ部分が小さいため、特に車いす利用者や握力の低い方だと施錠しづらい。 【助言】 鍵の位置を変更するのが難しい場合は、レバー式の鍵を採用することなどが効果的と考えられる。 （北海道建築士会札幌支部 東 道尾）	2 多目的トイレ（地下1階～2階） (1) 鍵の位置（高さ） 構造上、鍵の位置の変更が難しい可能性があります。鍵のつまみ部分をレバー式のものに変更するなど、柔軟に対応して利便性を向上してまいります。

御意見	考え方
(2) 鍵の合わせ位置（扉の建付け） 【指摘】  吊り戸のため、閉める際に扉が動きやすい（ブレやすい）。特に車いす利用者の場合は鍵穴への合わせが難しく施錠しづらい。 【助言】 扉の交換が難しい場合は、鍵の合わせ位置に目印を貼付するほか、室内の壁に説明書きを掲載することなどが効果的と考えられる。 （北海道建築士会札幌支部 東 道尾） (3) ユニバーサルシート 【指摘】 ユニバーサルシートが設置されていない。 【助言】 多目的トイレ内に設置するための十分なスペースがないため、可動式の簡易ベッド等を用意して、換気設備の整っている一般のトイレなどを活用するなど臭気にも配慮した対応ができるようにすべき。 （北海道建築士会札幌支部 東 道尾）	(2) 鍵の合わせ位置（扉の建付け） 扉の建付けや鍵穴の位置を調整するなど物理的な改善を試みるほか、鍵の合わせ位置に目印を貼付するなどして、利用者が迷わず施錠できるよう、視覚的な注意喚起と操作性の向上を図ってまいります。 (3) ユニバーサルシート 簡易ベッドを用意し、主に、スペースに余裕のある1階一般用トイレや地下1階多目的更衣室を活用してまいります。 

御意見	考え方
(4) 手荷物の置き場所 【指摘】 車いす利用者でも手荷物を容易に置ける（適当な高さの）設備がない。 【助言】 適当な高さにS字フックやキャスター付の設置台を設けた方がよい。 （北海道建築士会札幌支部 東 道尾） (5) サニタリーボックス 【指摘】 サニタリーボックスが小さいため、車いす利用者が使いづらく、大人用のオムツを入れるとすぐに一杯になってしまう。 【助言】 車いす利用者でも手の届きやすい高さで、蓋に取っ手がついており、かつ、大きなサイズのものに変更した方がよい。 （札幌市身体障害者福祉協会 牧野 舜平、公募委員 高橋 めぐみ） (6) スリッパの置き場所 【指摘】 多目的トイレ入口の真ん中にスリッパが置かれており、車いすが進入する際の妨げになっている。 【助言】 トイレ内の端の方にスリッパをしまっておくためのラックを設置するとよい。 （公募委員 高橋 めぐみ）	(4) 手荷物の置き場所 ご助言のとおり対応させていただきます。 (5) サニタリーボックス ご助言のとおり対応させていただきます。 (6) スリッパの置き場所 ご助言のとおり対応させていただきます。

御意見	考え方
(7) 施錠の有無を知らせる仕組み 【指摘】 外側からでは施錠されていることが視覚的に分かりづらい。 【助言】 鍵の交換が難しければ、ドアノブに「使用中」の札を下げるといった手法が考えられる。 (北海道建築士会札幌支部 東 道尾) 	(7) 施錠の有無を知らせる仕組み ご助言のとおり対応させていただきます。
3 3階ランニングコースへのアクセス(エレベーター) 【指摘】 2階から3階にかけてエレベータが繋がっていないため、車いす利用者の場合、3階ランニングコースを利用できない。 【助言】 ランニングコースの外周は100mと短く、かつ、幅も広くないため、車いす利用者のニーズはほぼないと思われる。エレベーターの延伸が難しいのであれば、どうやってランニングコースを利用できるようにするかではなく、代替案を考えた方がよい。 (札幌市身体障害者福祉協会 牧野 舜平) 	3 3階ランニングコースへのアクセス(エレベーター) (車いす利用者及び他の体育室利用者の安全面を考慮したうえで) 2階体育室の外周をご利用いただくなど、代替案を検討してまいります。

御意見	考え方
4 ライラックホールの扉 【指摘】 引き戸かつ（防音扉のため）重く、車いす利用者などの場合、自力で開閉することが難しい。 【助言】 ①ホール内に単独で取り残されてしまう可能性があるため、ホール内から事務室等へ連絡できる設備が必要。 （北海道建築士会札幌支部 東 道尾） ②扉の軽量化が難しく、また、利用者に同伴の介助者等がない場合は、職員が補助することが必要。 （札幌市身体障害者福祉協会 牧野 舜平） 	4 ライラックホールの扉 緊急用のブザーなどホール外に伝える設備を整備するほか、緊急時、円滑に使用できるようにするため、使い方の説明を記載したものを用意致します。 このほか、適宜、職員が補助を行ってまいります。
5 その他 (1) 水飲み機の高さ 【指摘】 体育室入口の水飲み機が高いため、車いす利用者が利用しづらい。 （札幌市身体障害者福祉協会 川島 行雄） (2) 券売機の高さ 【指摘】 券売機のボタンの位置が高いため、車いす利用者が使いづらい。 （札幌市身体障害者福祉協会 川島 行雄） (3) シャワーヘッドの高さ 【指摘】 多目的更衣室からプールに繋がる通路に設置されているシャワーヘッドの位置が高いため、車いす利用者が使いづらい。 （札幌市身体障害者福祉協会 川島 行雄）	5 その他 (1) 水飲み機の高さ 車いす用給水器の設置や紙コップの用意、職員による介助など、車いす利用者でも利用できる方法を検討してまいります。 (2) 券売機の高さ 障がいのある方の利用料について、免除とすることを想定しております（券売機を活用する機会はないと想定しております）。 (3) シャワーヘッドの高さ シャワーヘッドの位置を適当な高さに調整致します。

御意見	考え方
(4) 男子トイレのサインの色 【指摘】 男子トイレのサインの色について、一般的な青色ではなく、緑色で表示されているため、知的障がいのある方が混乱する可能性がある。 【助言】 サインの更新が難しければ、「男子トイレ」と文字で表示したステッカー等を追加で貼ることが考えられる。 (公募委員 高橋 めぐみ) (5) 身障者用の駐車スペース 【指摘】 身障者用の駐車スペースが2台だと足りない可能性がある。 (札幌市身体障害者福祉協会 川島 行雄) (6) ミーティングルームのデスクの高さ 【指摘】 ミーティングルームのデスクの高さが車いす利用者には合わない。 (札幌市身体障害者福祉協会 牧野 舜平)	(4) 男子トイレのサインの色 サインの色を変更する方向で検討を進め、難しい場合はご助言いただいたとおり対応させていただきます。 (5) 身障者用の駐車スペース 現状、2台とも利用されていることがほぼありませんが、今後の利用状況を見ながら、特に、障がいのある方の優先利用日時などにおいては、一時的に身障用の駐車スペースを増やすことを検討してまいります。 (6) ミーティングルームのデスクの高さ 車いす利用者のご利用される際は、適切な高さのものをご用意致します。

以上